

I 新技術の解説

(1) 要 旨

○ね ら い

以前ツツハナコナダニの防除剤として使用され製造中止となったサリチオン水和剤の代替剤を検索し実用化する。

○経過と方法

- ① DDVP乳剤のツツハナコナダニに対する殺虫効果を濃度別に検定した。
- ② マメコバチの羽化に及ぼすDDVP乳剤の影響について濃度別に調査した。

○技術の要旨

- ① ツツハナコナダニに対するDDVP乳剤の浸漬法による濃度別効果は、1500倍、3000倍では100%の殺虫効果が認められたが、5000～20000倍では不十分であった。
- ② マメコバチの羽化に対する影響では1500～80000倍の濃度において、3000倍に5.5%の影響があったがその他の濃度では影響がなかった。ただし処理直後の羽化で1500倍で33.3%、3000倍で3.6%の羽化後死虫が認められた。
- ③ DDVP乳剤3000倍による浸漬処理で実用性があると思われた。

(2) もたらされる効果

DDVP乳剤によりツツハナコナダニの防除が可能になる。

(3) 普及対象範囲

全県

(4) 普及上の留意事項

1. 浸漬処理後は通風の良い場所で十分に乾かす。
2. 羽化期が近づいてからの処理は行わない。

(5) 発表文献等

II 具体的なデータ等

表-1 マメコバチ寄生コナダニ殺虫試験

薬剤名	希釈 倍数	供試 虫数	タングル付着 死虫数	死虫数	補正 殺虫率
DDVP乳剤	1500	217.0	103.7	113.3	100.0
	3000	169.0	100.7	68.3	100.0
	5000	192.3	84.7	60.7	75.5
	10000	181.0	15.7	11.3	14.9
	20000	186.3	1.0	1.3	1.3
水+展着剤		197.7	0.0	0.7	0

3区平均値

表-2 DDVP乳剤のマメコバチ羽化に及ぼす影響

薬剤名	希釈 倍数	供試 繭数	幼虫死 他	羽化数	補正 殺虫率	羽化後 死虫率
DDVP乳剤	1500	90	3	82	0.0	33.3
	3000	90	1	79	5.5	3.6
	5000	89	4	82	0.0	0.0
	10000	87	7	78	0.0	0.0
	20000	88	2	82	0.0	0.0
	40000	87	5	78	0.0	0.0
	80000	91	6	82	0.0	0.0
水+展着剤		89	7	77		

3区合計値

発行年月	9506	キーワード	187
基礎分類	35	キーワード	253
作目名	35	キーワード	